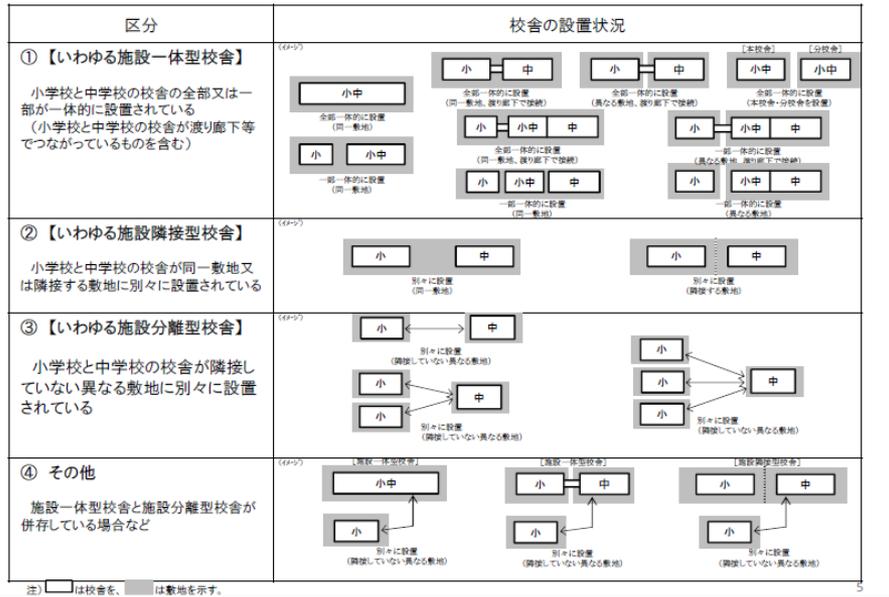
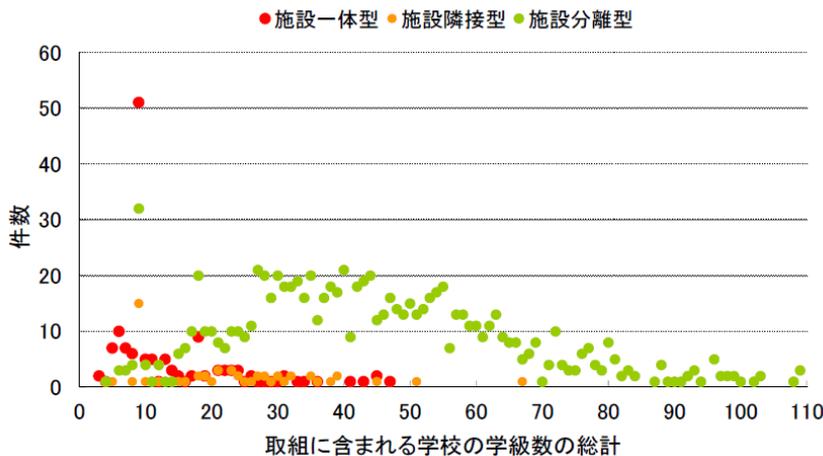


(1) 小中一貫教育における校舎の設置状況の分類



(2) 施設形態別 学級数分布(平成26年5月1日調査時点)



(3) 小中一貫教育の成果・課題と施設形態

全都道府県、全市町村、小中一貫教育を実施している全国の国公立小・中学校を対象にした、文部科学省初等中等教育局実施の調査結果を基に、小中一貫教育の成果・課題と施設形態の関係性についてまとめた。

● 小中一貫教育の成果と施設形態

項目	施設一体型		施設隣接型		施設分離型	
	大きな成果あり	成果あり	大きな成果あり	成果あり	大きな成果あり	成果あり
	合計		合計		合計	
授業が理解できると答えた児童生徒が増えた	8	72	3	61	3	49
児童生徒の学校生活への満足度が高まった	16	65	12	58	6	60
いわゆる「中一ギャップ」が緩和された	40	55	34	56	18	69
いじめの問題等が減少した	11	67	5	54	5	49
不登校が減少した	18	52	8	42	6	45
上級生が下級生の手本となるようとする意識が高まった	41	55	27	63	12	59
小・中学校の教職員間で互いの良さを取り入れる意識が高まった	32	61	27	58	17	72
小・中学校の指導内容の系統性について教職員の理解が深まった	24	66	22	59	8	67
保護者の学校への満足度が高まった	9	71	5	59	3	45
保護者との協働関係が強化された	14	61	10	58	4	44
地域との協働関係が強化された	19	64	17	56	7	52

「成果あり」との回答割合が多い順 : ■ > ■ > ■

● 小中一貫教育の課題と施設形態

項目	施設一体型		施設隣接型		施設分離型	
	大きな課題あり	課題あり	大きな課題あり	課題あり	大きな課題あり	課題あり
	合計		合計		合計	
児童生徒の人間関係が固定化しないような配慮	5	49	10	37	3	30
中学校における生徒指導上の問題の小学生への影響	1	16	0	19	2	27
小学生高学年のリーダー性・主体性の育成	4	47	2	25	3	33
小中教職員間での打ち合わせ時間の確保	15	55	31	51	28	56
児童生徒間の交流を図る際の移動手段・移動時間の確保	2	5	10	14	22	45
成果・課題の可視化と関係者間での共有	3	43	2	63	9	59
教職員の負担感・多忙感の解消	13	64	25	66	5	51
教職員間での負担の不均衡	3	53	10	61	14	54
小中が接続する学年又は区切り以外を担当する教職員の意識向上	1	24	3	41	5	37

「課題あり」との回答割合が多い順 : ■ > ■ > ■